



国産洋楽器展示エリアが広くなりました ～日本と浜松の西洋楽器製造の歴史を紹介します～



公立の楽器博物館が浜松にある理由をご存知でしょうか？それは浜松地域が明治時代に日本で最初に国産アップライトピアノを作った町であり、その後も多数のピアノ製作メーカーが誕生し、ピアノ製造では欧米をしのぐ大きな産業を有しているからです。そればかりか、ピアノ以外の管楽器、弦楽器、打楽器、電子楽器においても、メーカーが集結して、国内最大の製造数を誇っているからです。つまり地場産業の歴史があるおかげで、楽器博物館が誕生したのです。

国産アップライトピアノが誕生したのは1900年（明治33年）で、日本楽器製造株式会社（現在のヤマハ株式会社）が作りました。同社の前身は、ヤマハ株式会社の公式社史では1889年（明治22年）山葉寅楠が設立した山葉風琴製造所とされています。ピアノ製造開始の前は足踏み式のリードオルガンを作っていたのです。寅楠が最初にリードオルガンを作ったのは1887年頃と言われています。当時、明治維新の学制改革で、小学校に唱歌の教科が作られ、唱歌の伴奏にはリードオルガンが良いと国が決めたのです。当時は外国からの輸入オルガンしかなかったため、日本人の多くが国産でリードオルガンを作ろうと努力をしました。寅楠もその一人でした。ちなみに

日本で最初にリードオルガンを作ったのは東京の才田光則で1881年（明治14年）のことでした。以来浜松は日本における西洋楽器製造産業の中心地域となりました。

その後、東京、大阪、名古屋やその他の町にも、数多くのメーカーが誕生しました。現在浜松地域には、ヤマハ、カワイという2大メーカーをはじめ、ハーモニカ、メロディオン、大正琴などで有名な鈴木楽器、ハーモニカの昭和楽器、世界的電子楽器メーカーのローランド、チェンバロの三創楽器、また楽器部品や修理、音響機器など世界的な技術を誇るメーカーや個人の職人が多数存在しています。

そのような浜松と日本の西洋楽器製造の足跡を紹介するのが「国産洋楽器」のエリアです。以前の4倍、20年前の開館時の10倍以上の床面積となりました。展示品はリードオルガン、ピアノ、アコーディオン、ファゴット、大正琴、ヴァイオリン、マンドリン、ハーモニカ、軍隊ラッパなど様々です。リードオルガンの中には田中正平発明の純正調オルガン、大倉喜七郎考案のオークラウロといった貴重な楽器も含まれています。このエリアは隣接する電子楽器展示エリアとともに、今後展示資料を各方面からご提供いただき、充実させていく予定です。

第 180 回レクチャーコンサート 「器楽として奏でられるオペラ～パリからヴェネツィアへ～」



日 時：平成 28 年 5 月 14 日（土）18:30～20:30
 会 場：楽器博物館 天空ホール
 出 演：アンサンブル・リクレアツィオン・ダルカディア
 松永綾子（バロック・ヴァイオリン）、
 山口幸恵（バロック・ヴァイオリン）、
 懸田貴嗣（バロック・チェロ）、渡邊孝（チェンバロ）
 入場者：56 人

海外でも活躍されているアンサンブル・リクレアツィオン・ダルカディアをお迎えしてコンサートを開催しました。

当館所蔵のフランスのチェンバロ（1765 年 ブランシェ 2 世作）が使用されるということで、楽器に合った選曲をしていただきました。その結果、フランスらしさをとりいれつつも、イタリア的なオペラを融合させたプログラムになりました。特にそれが表れていたのが、ミケーレ・マシッティ作曲の「コンチェルト第 3 番ト長調 作品 7-11」です。マシッティは、イタリアのナポリ出身ですがフランスで活躍した人気作曲家です。曲の随所にアリアを彷彿させるようなメロディーが現れて、まるでオペラを聴いているような喜びを与えてくれました。

使用された楽器は全て 18 世紀のものでした。時を経て、海を越えて、浜松という地で巡り合い演奏されました。まさに奇跡の瞬間に立ち会ったかのような様子でした。

第 181 回レクチャーコンサート 「マジカル・ジプシーコンサート～ジプシートリオとツインバロムの響き～」



日 時：平成 28 年 5 月 27 日（金）19:00～21:00
 会 場：楽器博物館 天空ホール
 出 演：古館由佳子（ジプシーヴァイオリン）、
 コヴァーチ・カーロイ（ジプシーチェロ）、
 バログ・デジュ（ピアノ）、
 ヴァダース・カーロイ（ツインバロム）
 入場者：115 人

ハンガリーのジプシー音楽を紹介するコンサートを開催しました。演奏は古館由佳子さん（ジプシーヴァイオリン）、そして、ハンガリーからコヴァーチ・カーロイさん（ジプシーチェロ）、バログ・デジュさん（ピアノ）、ヴァダース・カーロイさん（ツインバロム）の名手をお迎えしました。

注目を集めたのは、ハンガリーのジプシー音楽には欠かせない楽器ツインバロムです。台形の箱状の形で、弦がたくさん張っており、両手に持ったバチで弦を打って演奏します。メンバー全員による「ハンガリア舞曲第 5 番」や「チャールダーシュ」等のなじみのある曲をはじめ、それぞれの楽器のソロなどを交えた演奏、そして「さくら」等の日本の曲も数曲披露してくださいました。

本場のハンガリーでは、主に食事やお酒を楽しむ場で演奏されます。演奏を聴いているうちに会場の雰囲気がどんどん温まり、とても熱気のあるコンサートになりました。

初心者向け実技ワークショップ 「メヌエットからワルツへ～ヨーロッパ古典舞踊入門～」



日 時：平成 28 年 5 月 20 日（金）19:00～21:30
 会 場：楽器博物館 天空ホール
 講 師：市瀬陽子、竹内太郎 参加者：15 人

昨年、大変好評を博した古典舞踊のワークショップも今年も開催しました。18 世紀のメヌエットや 19 世紀のワルツを当時のスタイルで教えていただきました。講師は市瀬陽子さんと竹内太郎さんです。

メヌエットは 18 世紀のフランスの舞踏会で流行した踊りですが、19 世紀になるとメヌエットに替わってワルツが舞踏会の中心となり 18 世紀の踊りは失われていきました。体験してみるとワルツよりもメヌエットの方がリズムの取り方が複雑だということが分かりました。どちらもペアで手を取り合って踊るものですので、参加者は始め少し緊張していましたが、徐々に踊れるようになると笑顔が見られました。

休憩をかねて、竹内さんが当館所蔵のハープリュート・ギターを演奏してくださいました。踊りの伴奏は竹内さんのギターと当館館長のリコーダーによる生演奏で、大変優雅なひと時となりました。

ミニコンサート 「片手で笛・片手で太鼓～パイプ&テイバー～」



5月3日(火)は、テイバラーズ TOKYO の皆さんによるパイプ&テイバーの演奏でした。パイプは笛、テイバーは太鼓のことです。片手で笛を吹きながら、もう片方の手で太鼓を叩くというのが演奏の特徴です。笛は前に2つ、後ろに1つの全部で3つの孔が空いています。息の吹き込み方を強くしたり、弱くしたりすることで、広い音域の音を出すことができます。ハンガリーの舞曲を5曲まとめたメドレーやイギリス、イタリアの舞曲などが演奏されました。太鼓のリズムと可愛い笛の音色につられて、会場からも手拍子が聞こえてきました。

日 時：平成28年5月3日(火) 14:00、15:30 (各30分)
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：テイバラーズ TOKYO 入場者：152人

ミニコンサート 「究極の知的手作り楽器～ストローの笛～」



5月4日(水)は、神谷徹さんによる「ストロー笛」の演奏を楽しみました。

今回は、こいのぼり、まつむし、ゴジラ、月、シャボン玉等、全部で20種類以上の楽器を演奏していただきました。例えば「こいのぼり」は、メロディーに合わせてこいのぼりがどんどん昇っていくものです。また、「シャボン玉」はメロディーと共に本物のシャボン玉が舞い上がりました。ある1曲のためだけに作られた「専用楽器」が次々と現れ、終始お客様の笑顔が溢れ、歓声があがりました。

日 時：平成28年5月4日(水) 14:00、15:30 (各30分)
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：神谷徹 入場者：251人

ミニコンサート 「ライト&スイート～バンジョーとアコーディオン～」



5月5日(木)は、Banjo & Accordion のお2人、稲川友則さん(バンジョー)と柴田貴子さん(アコーディオン)による演奏を楽しみました。今回は「スタイル・ミュゼット」「ワシントン・スクエア」、ピアソラ作曲「リベルタンゴ」などを演奏していただきました。ノスタルジックな曲から、可愛いワルツ、躍動感溢れるアップテンポな曲まで、お2人の多彩な演奏にお客様もうっとりとして耳を傾けていらっしゃいました。稲川さんはバンジョーを数本お持ちくださいましたが、なかには120年前の楽器もあり、大変貴重な演奏を聴くこともできました。

日 時：平成28年5月5日(木) 14:00、15:30 (各30分)
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：Banjo & Accordion (稲川友則、柴田貴子) 入場者：208人

ミニコンサート「コーラス」



市内を中心に活動を行うアンサンブル・ミュージック女声合唱団の皆さんに演奏していただきました。指揮は仁科岡彦さん、ピアノ伴奏は山崎恵子さんです。フォーレ作曲「小ミサ曲」、松下耕作曲「カンターテ・ドミノ変ロ長調」などが演奏され、コチャール作曲「アヴェ・マリア」「サルヴェ・レジーナ」はアカペラで披露されました。

使用したピアノは当館所蔵のエラール(フランス)で、以前は作曲家である故・武満徹さんが所蔵していたものです。フランスらしい優雅な音色と、美しく透き通った歌声に会場が包まれました。

日 時：平成28年5月29日(日) 13:30、15:00 (各30分)
会 場：楽器博物館 天空ホール
出 演：アンサンブル・ミュージック女声合唱団 入場者：123人

CD新発売「この道 童謡・唱歌の四季 ～リードオルガンとソプラノによる日本の叙情～」

当館コレクションシリーズ CD の最新アルバム No.55 は「この道～童謡・唱歌の四季 リードオルガンとソプラノによる日本の叙情～」です。明治以来、私たちの心を育ててきた童謡と唱歌は日本の宝物。子どものために先人が創った美しいメロディと格調高い詩は、子どもの心にも大人の心にも深くしみいります。楽器博物館所蔵の足踏み式リードオルガン 2 台とソプラノで贈る心温まるアルバムです。

演奏：鈴木開（リードオルガン）、名倉亜矢子（ソプラノ）

使用楽器：大和オルガン 2 号型（日本楽器製造株式会社（現ヤマハ）、明治～大正、浜松）、パーラーオルガン（エステ社 1891 年アメリカ）

収録曲：朧月夜、夏の思い出、赤とんぼ、たき火、他全 20 曲



博物館日誌

- 5/1 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤楽器)
参加者：64 人
- 5/3 (火) ミュージアムサロン
「片手で笛・片手で太鼓～パイプ&ティバー～」
14:00、15:30 天空ホール 出演：ティバラーズ TOKYO
入場者：152 人
- 5/4 (水) ミュージアムサロン
「究極の知的手作り楽器～ストローの笛～」
14:00、15:30 天空ホール 出演：神谷徹
入場者：251 人
- 5/5 (木) ミュージアムサロン
「ライト&スイート～バンジョーとアコーディオン～」
14:00、15:30 天空ホール
出演：Banjo&Accordion (稲川友則、柴田貴子)
入場者：208 人
- 5/8 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)
参加者：36 人
- 5/14 (土) レクチャーコンサート
「器楽として奏でられるオペラ～パリからヴェネツィアへ～」
18:30 天空ホール
出演：アンサンブル・リクレアツィオン・ダルカディア
(松永綾子、山口幸恵、懸田貴嗣、渡邊孝)
入場者：56 人
- 5/15 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤楽器)
参加者：31 人
- 5/20 (金) ワークショップ
「メヌエットからワルツへ～ヨーロッパ古典舞踊入門～」
19:00 天空ホール 講師：市瀬陽子、竹内太郎
参加者：15 人
- 5/22 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)
参加者：44 人
- 5/27 (金) レクチャーコンサート 「マジカル・ジプシーコンサート
～ジプシートリオとツインパロムの響き～」
19:00 天空ホール 出演：古館由佳子、
コヴァーチ・カーロイ、パログ・デジュール、ヴァーダス・カーロイ
入場者：115 人
- 5/28 (土) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう」
13:30、14:30 地下展示室 指導：ボランティア
参加者：7 人
- 5/29 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)
参加者：12 人
- 5/29 (日) シリーズ音楽の広場「コーラス」13:30、15:00 天空ホール
出演：アンサンブル・ムジーク女声合唱団
入場者：123 人
- 6/5 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)
参加者：49 人
- 6/12 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤楽器)、14:00 (アジア)
参加者：40 人
- ♪ギャラリートーク
(職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで 10 分間ほど解説)
5 月 計 99 回 参加者：1,259 人

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- 特別展
レフ・テルミン博士生誕 120 周年記念「音楽と革命
それはテルミンから始まった～ 20 世紀と電子楽器の幕開け～」
8/3 (水) ～ 8/31 (水)
- レクチャーコンサート
「諸行無常の響き 声明と平家琵琶～語りにもみる仏教哲学～」
7/20 (水) 19:00 天空ホール 出演：菊田雄司、田中奈央一、
日吉章吾 (平家語り)、海老原廣伸 (声明)、近藤静乃 (解説)、
薦田治子 (司会)
「電子楽器テルミン 音楽と革命 それはテルミンから始まった～
20 世紀と電子楽器の幕開け～」
8/7 (日) 19:00 天空ホール 出演：ピョートル・テルミン、
ナターリア・テルミン、竹内正実 (テルミン)、門田佳子 (ピアノ)
- イブニングサロンコンサート
「名器リンドホルム・クラヴィコードの魅惑」
8/6 (土) 18:30 天空ホール 出演：宮本とも子
- スペシャルミュージアムサロン
「クラヴィコードって何?～ピアノでもチェンバロでもない、
耳を澄まして聴く、素敵な鍵盤楽器～」
8/6 (土) 天空ホール 13:30 ～ 16:00 出演：宮本とも子ほか
- ミニコンサート 14:00、15:30 天空ホール
7/10 (日) 「アフリカの楽器」出演：ロビン・ロイド
7/24 (日) 「オカリナ」(14:00 のみ)
出演：モリネッタ・オカリナグループ (イタリアより来日)
7/31 (日) 「サクソフォンアンサンブル」
出演：浜松サクソフォンクラブ
8/13 (土) 「南米の楽器アルバム」出演：長島忠之ほか
8/14 (日) 「クラリネットアンサンブル」
出演：浜松クラリネット・クワイアー
8/15 (月) 「アイリッシュ・ハーブ」
出演：寺本圭佑、山口亮志
8/21 (日) 「金管アンサンブル」
出演：ハママツプラスアンサンブル
- その他
8/16 (火) 午後 (時間未定) 展示室
テルミンドキュメンタリー映像を紹介

レクチャーコンサート日程変更のお知らせ

「ひとつの音に世界を聴く
～一絃琴と尺八による和洋の出逢い～」は
10/12 (水) に変更いたしました。

浜松市楽器博物館だより
平成 28 年 7 月 1 日発行 No. 111 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1 TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
URL <http://www.gakkihaku.jp/>